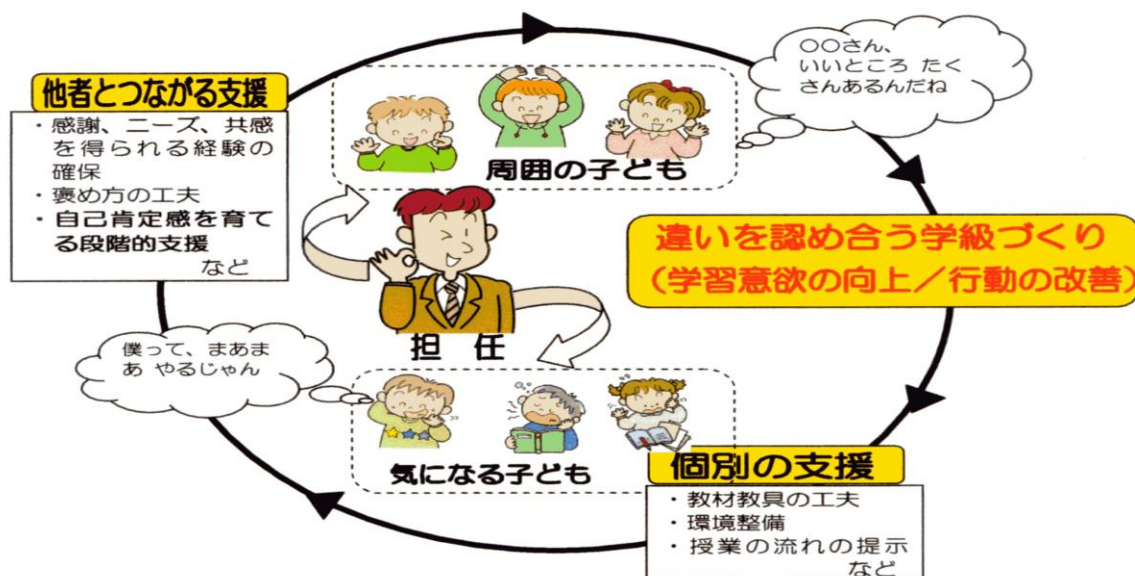


地域支援研修会～ユニバーサルデザインによる学級づくりと子どもの自己理解に向けて～

8月20日(木)、秋田県立総合教育センター講堂を会場に、筑波大学人間系准教授 小島道生氏を講師に迎えて本校の地域支援研修会を実施しました。



今回の研修では、ユニバーサルデザインのソフトな側面（他者につながる経験）におけるポイントや、気になる子どもの自己理解につながる自尊感情を高める支援の在り方について学ぶことができました。

特に、「自己肯定感を段階的に育てていくこと」（1 身体的な感覚からの理解 2 現在の自己についての理解 3 時間軸と多面的な自己理解 4 自己評価、特性の理解 5 自分らしさの発見）が、目の気になる子どもたちの学習意欲を向上させたり、行動を改善させたりすることにつながっていくことを、具体的な事例を通し分かりやすく紹介してくださいました。

「違いを認め合う学級づくり」という学級経営改善においても、ヒントをたくさん得ることのできた研修会でした。

「発達障害のある子の「自尊感情」を育てる授業・支援アイデア（Gakken）」に今回紹介された支援方法について詳しく掲載されています。興味のある方は、ご覧になってください。

感想から...



自尊感情を高めるためには「自己成長」への気付きが必要であり、そのために自己理解が大切であるということが理解できました。

児童の気持ちに共感していくことに加え、行動に意味付けをしていくことが必要であると気付きました。

「怒り」の受け止め方について、「事実とあと一言の我慢できる姿を言語化して自覚させてやる」プラスの支援の大切さを感じました。

ボランティア養成講座の紹介

天王みどり学園では、障害のある人の理解と支援について関係機関から講師を招くなどして高校生や一般の方に情報を提供しています。また、行事でのボランティア体験を通して、子どもたちと直接ふれあうことで実際の支援の仕方を経験していただいています。こうした活動を通して、地域の理解者が増えるとともに、そのすそ野が広がることを願って様々な講座を計画しています。今回は、その取り組みについて紹介します。

◆平成27年 ボランティア養成講座

期 日	講 座	講師、行事	内 容	受 講 者
1 / 28	講義Ⅱ	潟上市社会福祉協議会 のボランティアコーディネーター	ボランティアとは	秋田西高、新屋高 本校保護者
4 / 20	講義Ⅰ	本校教育専門監	障害の理解と支援	(出前) 秋田西高
23	講義Ⅰ	本校教育専門監	障害の理解と支援	(出前) 金足農業高
5 / 1・9	ボランティア体験	運動会予行、運動会	用具、ゴール係等	秋田西高、金足農業高
7 / 23	講義Ⅰ	本校教育専門監	障害の理解と支援	秋田西高、金足農業高
25	ボランティア体験	みどりっこ夏まつり	会場準備・撤去、 出店、駐車場など	秋田西高、金足農業高 五城目高、能代高、一般
29	講義Ⅱ	秋田きらり支援学校、 盲学校、聾学校の教員	肢体不自由、視覚 障害、聴覚障害	秋田西高、金足農業高
9 / 24	講義Ⅰ	本校教育専門監	障害の理解と支援	秋田西高、金足農業高
10 / 20	講義Ⅰ	本校教育専門監	障害の理解と支援	五城目高
10 / 24	ボランティア体験	学園祭	用具係	秋田西高、金足農業高
12 / 10	講義Ⅰ	本校教育専門監	障害の理解と支援	(出前) 追分小PTA

◆講座の様子

西高の出前講座はギッシリ。



よーい、スタート！

案外、怖いわね。



夏まつりの出店

大繁盛でした。

◆受講された方の感想紹介



今日の講義を聴いて、今まで知らなかった障害者への工夫や対処などがよく分かりました。私も思いやりをもって人に接したいと思いました。



夏まつりでは、講義を受けたときとはまた別で、実際に障害のある人と接してとても良い経験になりました。小・中学校とも協力していて、みどり学園は地域の人がたくさん集まるいい場所だと思いました。

たくさんの方々の受講とコメント一つ一つが、本校の取り組みをさらに充実させるエネルギーになっています。

お知のせ

秋田魁新報で「発達障害と歩む」が毎週水曜日に連載されています。本校教育専門監(加賀谷勝)も掲載されました。ぜひご一読ください！